

Network Storage System

LAS-1URANシリーズ

ネットワーク・ストレージシステム
ハードウェア マニュアル

Logitec

目次

取扱い上のご注意	1
付属品の確認	8
ごあいさつ	9
ご注意	9
第1章 製品のご紹介	10
1.1 製品の概要	10
1.2 ご使用前に	11
1.3 各部の名称と機能	12
1.4 スイッチ・表示ランプの機能	16
第2章 設置と運用	19
2.1 設置上の注意	19
2.2 接続について	22
2.3 ネットワークの接続設定について	24
2.4 電源の投入と切断	26
2.5 管理・設定について	27
第3章 ハードディスク・電源ユニットの交換手順	28
3.1 ハードディスク ユニットの交換	28
3.2 電源ユニットの交換	31
第4章 補足事項	32
4.1 保守契約サービスのご案内	32
4.2 動作確認済みUPS	33
4.3 動作確認済みテープドライブ	33
4.4 オプション品について	33
4.5 日常のお手入れについて	34
ハードウェア仕様一覧表	35
修理依頼書	37

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



注意

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かの注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



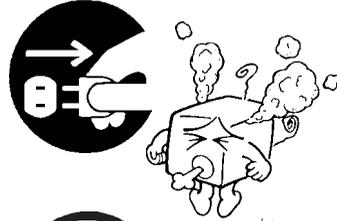
塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。装置について何か問題が発生した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、お買い求めの販売店へご連絡いただくか、弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

警告

万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

通気孔などから、金属類や燃えやすいものなどを入れないでください。そのまま使用すると感電や火災の原因になります。

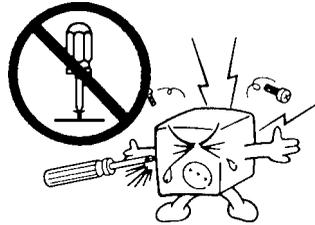
万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



分解しないでください。

本書の指示に従って行う作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。

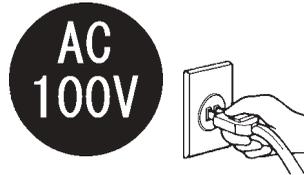
特に電源内部は高電圧が多数あり、万一触れると危険です。



表示された電源で

使用してください。

電源ケーブルは必ずAC100Vのコンセントに接続してください。



電源コードを大切に。

電源コードは必ず本製品付属のものを使用し、以下の点に注意してください。取扱いを誤ると、感電や火災の原因になります。

「物をご載せない」「引っ張らない」

「押し付けない」「折り曲げない」

「加工しない」「束ねない」

「熱器具のそばで使用しない」





警告

電源コンセントの扱いは慎重に。

電源3ピンタイプのコンセントをご使用ください。その他のコンセントを使用すると感電や火災の原因になります。



電源プラグの抜き差しには注意してください。

電源プラグをコンセントに差し込むとき、または抜くときは必ず電源プラグを持って行ってください。無理に電源コードを引っ張るとコードの一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因になります。



休暇や旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。使用していないときにも通電しているため、万一、部品破損時には火災の原因になります。

電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。

設置・移動は2人以上で

本製品は本体重量が大きいため、設置 / 移動時には十分ご注意ください。本製品を開梱、移動する場合は2人以上で行なってください。



警告

電源プラグの接触不良やトラッキング。

電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。

電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。

電源プラグはほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。付着している場合は乾いた布などで拭き取り、差し込んでください。

グラグラしないコンセントをご使用ください。



ケースカバーは取り外さないでください。

思わぬ接触など作業の不具合発生時に故障や劣化による火災の原因になります。



装置の上に物を置かないでください。

本製品の上に重い重いものや、水の入った容器類、または虫ピン、クリップなどの小さな金属類をおかないでください。故障や感電、火災の原因となります。



揮発性液体の近くの使用は避けてください。

マニキュア、ペディキュアや除光液など揮発性の液体は、装置の近くで使わないでください。装置の中に入って引火すると火災の原因になります。



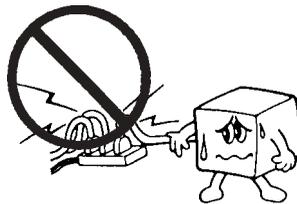
日本国以外では使用しないでください。

この装置は日本国内専用です。電圧の違いや環境の違いにより、国外で使用すると火災や感電の原因になります。また他国には独自の安全規格が定められており、この装置は適合していません。



⚠ 注意

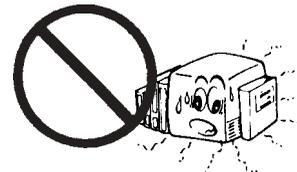
電源コードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



電源コードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



通風孔はふさがないでください。過熱による火災、故障の原因となります。また、通気孔には埃が付着しないよう、定期的に点検し、清掃してください。



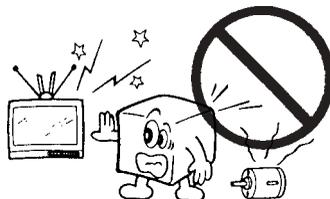
高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。



ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。



注意

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。



移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると発煙、発火や感電の原因になります。使用する場所で、数時間そのまま放置してからご使用ください。



装置の梱包用ポリシートは、お子様の手の届くところに置かないでください。かぶったりすると窒息するおそれがあります。



コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。発煙や接触不良などにより故障の原因になります。



踏み台やブックエンドなど、装置本来の目的用途以外に使用しないでください。壊れたり倒れたりし、けがや故障の原因になります。



地震対策について

地震などによる振動で装置の移動、転倒あるいは窓などからの飛び出しが発生し、重大な事故へと発展するおそれがあります。これを防ぐため、地震・振動対策を保守会社や専門業者にご相談いただき、実施してください。



注意

ねずみ対策について

ねずみなどによるコンピュータシステムの被害として次のものがあります。

ケーブル類の被覆の破損、断線

機器内部の部品の腐食、接続不良、汚損

これを防ぐため、ねずみ対策を専門業者にご相談いただき、実施してください。



屋外での使用

屋外では使用しないでください。故障の原因になります。



障害装置の交換

交換の前にデータのバックアップは必ずお取りください。

障害装置の交換では、操作手順の誤りや交換装置の故障により、データが破壊されるおそれがあります。

障害装置の交換は、必ずネットワークケーブルと電源ケーブルをすべて抜いた状態で行ってください。



よりよくお使いいただくために

本製品とシステム装置やハブ等のネットワーク機器を接続する際には、指定および制限事項を確認の上ご使用ください。指定および制限事項を考慮しなかった場合、ネットワーク環境全体の伝送能力に問題が生じるおそれがあります。





パソコン及び周辺機器の廃棄・譲渡時のハードディスク上の データ消去に関するご注意

ご利用の弊社製品を廃棄等される際には、以下の事項にご注意ください。

パソコン及び周辺機器を廃棄あるいは譲渡する際、ハードディスクに記録されたお客様のデータが再利用され、データが流出してしまうことがあります。

ハードディスクに記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけでは、データが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはずのデータが再生されることがあります。

ハードディスク上のデータが第三者に流出することがないように全データの消去の対策をお願いいたします。

消去に関しては、データが完全に消去されるよう、市販の専用ソフトウェアもしくは、専門サービス会社などを利用することをお勧めします。

また、ハードディスク上のソフトウェアを消去することなくパソコン及び周辺機器を譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますのでご注意ください。

付属品の確認

ネットワークストレージユニット	1 台
電源コード	2 本
ユーティリティCD-ROM	1 枚
セーフティキー	2 個
専用マシンホルダ（机上設置用）	4 個
オンサイト保守契約書	1 式
クイックスタートガイド	1 枚
保証書 / ユーザー登録カード	1 枚

本製品付属のユーティリティ CD-ROM には LAS-1URA750N/H シリーズ専用設定ツール「LogitecNAS Assistant」、バックアップツール「LogitecNAS Backup」、クライアントバックアップツール「LogitecNAS ClientBackup」、「ソフトウェアマニュアル」等が収められています。本製品の設定等で必要となりますのでなくさないようご注意ください。

本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、
項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用してハードディスクなどに収納したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

* MS[®]、Windows[®]は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。Macintosh、Mac OSは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

第 1 章 製品のご紹介

1.1 製品の概要

本製品は、19 型ラック搭載型のネットワークストレージユニット (NAS) です。既存のEthernetネットワークに簡単に接続が可能で、Windows クライアント、Macintosh クライアント、Linux クライアントからのアクセスが可能です。RAID 機能を搭載しているので、高い可用性を実現しています。

Point

ポイント

本書では本製品各部の名称や機能、本製品をご使用にあたっての環境条件、接続方法、障害からの復旧手段等について説明しております。接続後の設定やバックアップの方法については本製品付属のCD-ROMに収録されている「ソフトウェアマニュアル」をご参照ください。

本製品の特徴

インターネットブラウザを利用したりリモート管理ツールによって、本製品の管理 / 設定が可能です。また、付属のセットアップツールを利用することで、ネットワークサーバー等の専門知識がなくとも導入が容易にできます。

SMB/CIFS、AFP、NFSのマルチプロトコルをサポートしていますので、Windows、Macintosh、Linux等の異種OS間でデータの共有が可能です。

本製品は4台のハードディスクドライブを搭載し、RAID 機能を搭載しています。(対応 RAID レベル、RAID 0、RAID 1、RAID 5*、RAID 5+ ホットスペア) * 出荷時は RAID 5

ホットスワップ(本製品の電源がONのままハードディスクドライブを交換すること)に対応しています。1台のハードディスクドライブに不具合が発生してもシステムを停止することなくハードディスクドライブを交換することができます。

出荷時に RAID 5 に設定されているので、本製品をネットワークに接続後、IP アドレスなどの基本的な設定を行うだけで、可用性の高いファイルサーバーとしてお使いいただけます。

1 . 2 ご使用の前に

本製品のご使用に際しては以下の点にご留意ください。

インターネットブラウザは、Internet Explorer 5.0以降をご使用ください。

本製品の設定 / バックアップツール「LogitecNAS Assistant」は以下の OS をサポートしています。

Windows XP Home Edition/ Professional

Windows Me

Windows 98 (Second Edition 含む)

Windows 2000 SP1 以降

Windows NT 4.0 Workstation SP6 以降

Mac OS X 10.0.4 以降 (*)

Mac OS 9.0.4 ~ Mac OS 9.2.2 まで (*)

* Macintosh 環境では設定のみ可能です。Windows 版の LogitecNAS Assistant に含まれるバックアップツール LogitecNAS Backup は Macintosh 版には含まれていません。

クライアントバックアップツール「LogitecNAS ClientBackup」は以下の OS をサポートしています。

Windows XP Home Edition/ Professional

Windows Me

Windows 98 (Second Edition 含む)

Windows 2000 SP1 以降

Windows NT 4.0 Workstation SP6 以降

動作確認済みのクライアント OS は以下の通りです。

Windows XP Home Editon/Professional

Windows Me

Windows 98 (Second Editon 含む)

Windows 2000 SP1 以降

Windows NT 4.0 SP6 以降

Max OS X 10.0.4 以降

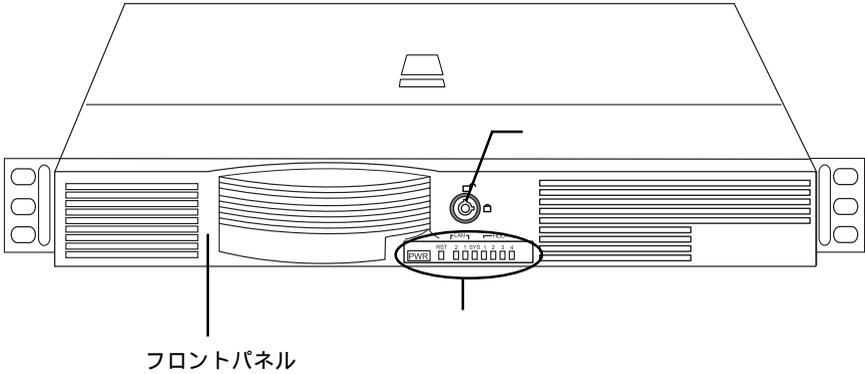
Mac OS 9.0.4 以降

Linux

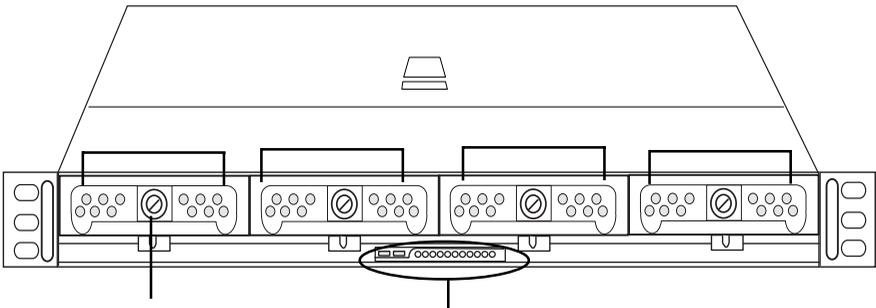
1 . 3 各部の名称と機能

本製品前面

1



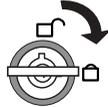
本製品前面フロントパネル取り外し時



セーフティロック

付属のセーフティキーをこの部分に挿し込み、本製品のフロントパネルの取り付け、取り外しを行います。フロントパネルは、内蔵のハードディスクユニットトレイ交換時以外は、取り付けた状態でご使用ください。

フロントパネルのロック / 解除は下図のようにそれぞれの位置まで回転させます。



ロックの位置



解除の位置



ご注意

セーフティキーはセーフティロックに挿し込んでから、強く奥に押し込んだ状態で回転させてください。

スイッチ・表示ランプ

本製品の電源 ON/OFF を切り替えるスイッチ、リセットボタン、LAN ポートや内蔵ハードディスクの状態を表示するランプがあります。詳細は「1.4 スイッチ・表示ランプの機能」をご参照ください。

～ ハードディスク ユニットトレイ 1～4

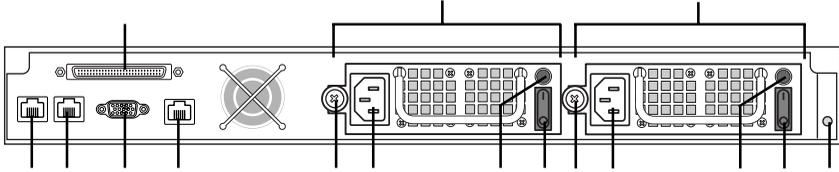
内蔵のハードディスクユニットがセットされたトレイが収納されています。ハードディスクユニットの交換手順については「3.1 ハードディスクユニットの交換」をご参照ください。

以下の説明では、前ページの図と対応する番号はハードディスクユニットトレイ 1 のものですが、その他のハードディスク ユニットトレイ内の名称、機能も全く同じですので、この部分は割愛させていただきます。

ハードディスク ユニットトレイ固定ネジ

内蔵ハードディスクユニットトレイを交換する場合、このネジを外します。

本製品背面



SCSI ポート (D-sub ハーフピッチ 68 ピン)

テープドライブを接続する場合、このポートへ接続します。

ギガビットイーサネットポート (LAN ポート 3)

エンハンスドカテゴリ 5 以上のツイストペアケーブル (UTP5) を使用して、1000BASE-T 対応のハブなどに接続してネットワークに接続する場合、このポートが使用できます。

また、フェイルオーバー機能を利用する際に使用します。詳しくはユーティリティ CD-ROM に収録されているソフトウェアマニュアルをご参照ください。

LAN ポート 1

UTP ケーブルで 100BASE-TX/10BASE-T の Ethernet ハブに接続します。通常の利用は、こちらになります。

シリアルポート (D-Sub 9 ピン)

本製品を UPS (無停電電源装置) に接続する場合、RS-232C ケーブルでこのポートと UPS を接続します。接続に使用するケーブルの種類などは UPS の取扱説明書をご参照ください。

LAN ポート 2

UTP ケーブルで 100BASE-TX/10BASE-T の Ethernet ハブに接続します。こちらはトランキング機能を利用する際に使用します。詳しくはユーティリティ CD-ROM に収録されているソフトウェアマニュアルをご参照ください。

電源ユニット 1、電源ユニット 2

本製品にはホットスワップに対応した 2 台の電源ユニットを搭載しています。これにより、片方の電源ユニットが故障した場合でも、システムに影響を及ぼすことなく本製品は稼働します。ただし、電源ユニットが故障した場合は、速やかに交換してください。電源ユニットの交換手順については「3.2 電源ユニットの交換」をご参照ください。

別売の電源ユニットは「4.3 オプション品について」をご参照ください。

電源ユニット内の名称と機能は電源ユニット1を元に説明いたします。電源ユニット2内の名称、機能も全く同じですので、この部分は割愛いたします。

電源ユニット取付ネジ

電源ユニットの取り付け、取り外しの際に使用します。

電源コネクタ

付属の電源コードを使用して、AC100Vのコンセントに接続します。

電源表示ランプ

本製品の電源がONの状態のときに緑色に点灯します。電源スイッチをONにしても、このランプが点灯していない場合は電源ユニットに異常が発生しています。

メイン電源スイッチ

本製品の電源をON/OFFするスイッチです。電源を完全にOFFにする場合は、電源ユニット1、電源ユニット2の両方のユニットのスイッチをOFFにします。この場合は、システムが完全に停止していることを確認してから行ってください。

システム動作中に電源ユニットを交換する場合は、もう片方の電源ユニットが正常に動作していることを確認してから交換する側のユニットのメイン電源スイッチのみOFFにしてください。



ご注意

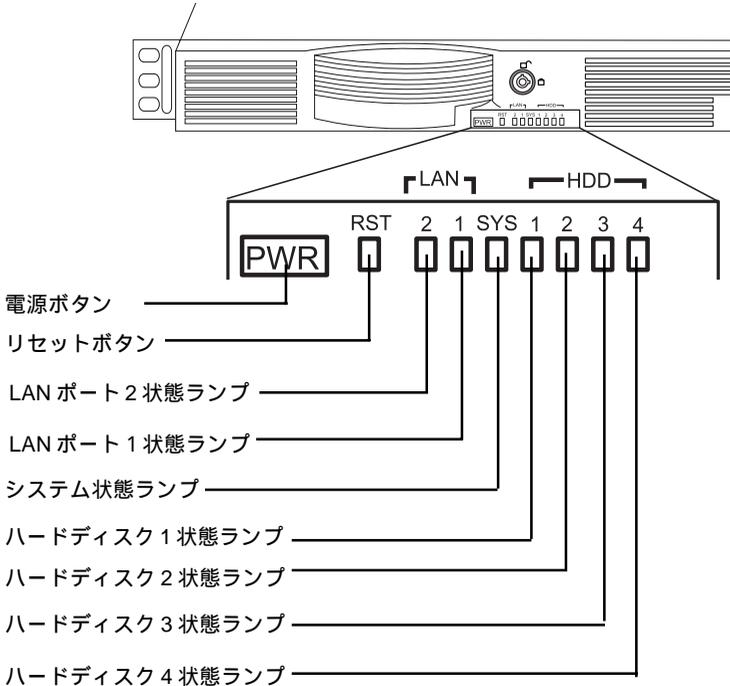
メイン電源スイッチはシステムがシャットダウンした後にOFFにしてください。システムの動作中にメイン電源スイッチをOFFにするとシステムに障害が発生したり、内蔵のハードディスクドライブに異常が発生したり、データが破損する可能性があります。

電源異常ブザーリセットスイッチ

本製品は電源ユニットに異常が発生した場合、警告音(ブザー)が鳴ります。異常を確認し、警告音を止める場合は、このスイッチを押してください。

1.4 スイッチ・表示ランプの機能

本製品前面のスイッチ・表示ランプには以下のような機能があります。



電源ボタン

背面側の電源ユニットに電源コードが接続され、メイン電源スイッチがONの状態、このボタンを軽く1回押すとシステムが起動します。



ご注意

- ・ システムの動作中にこのボタンを4秒以上押し続けしないでください。4秒以上押し続けると強制終了となり、システムに障害が発生したり、ハードディスクドライブ内のデータが破損する可能性があります。
- ・ 通常シャットダウン処理には約2分程かかります。

リセットボタン

システム動作中にこのボタンを4秒以上押し続けると、本製品をリセットさせることができます。


ご注意

システムの動作中にこのボタンを4秒以上押し続けるとシステムにリセットがかかります。この操作は、システムがハングアップした時のみ行い、その他の場合は決して行わないでください。システムに障害が発生したり、内蔵のハードディスクドライブに異常が発生する可能性があります。

1

LAN ポート2 状態ランプ

このランプが緑色に点灯している場合は、LANポート2が動作可能な状態であることを示します。点滅している場合は、本システムとの間で通信が行われていることを示します。

LAN ポート1 状態ランプ

このランプが緑色に点灯している場合は、LANポート1が動作可能な状態であることを示します。点滅している場合は、本システムとの間で通信が行われていることを示します。


ご注意

ギガビットイーサネットポート（LANポート3）の状態は表示されません。

システム状態ランプ

システムの状態に応じて、以下のように点灯・点滅します。

ランプの色	点灯/点滅	状態
緑	0.5秒間隔で点滅	ブート中
緑	1.0秒間隔で点滅	シャットダウン中
緑	2.0秒間隔で点滅	再構築中
緑	点灯	レディ状態
赤	1-2秒間点滅	本製品に電源投入直後、BIOSが初期診断を行っています。初期診断終了後、表示ランプは緑の点滅/点灯に変わります。
赤	0.5秒間隔で点滅	電源ユニットの片方に異常が発生しています。この場合、同時に警告音となり、異常を知らせるようになっていきます。警告音は背面の電源異常プザーリセットスイッチを押すと止めることができます。
赤	1.0秒間隔で点滅	本製品内のファンに異常が発生したことを示します。この場合、そのままご使用になると内部温度が上昇し、システムが損傷する可能性がありますので、直ちに電源をOFFにして、弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。
赤	点灯	複数のNASサーバが設置されている場合に、製品を特定するために、設定を行っているOS側の管理画面から点灯/消灯させることができます。

1.4 スイッチ・表示ランプの機能

ハードディスク 1 状態ランプ

ハードディスク 2 状態ランプ

ハードディスク 3 状態ランプ

ハードディスク 4 状態ランプ

内蔵ハードディスクの状態に合わせて以下のように点灯・点滅します。

ランプの色	点灯/点滅	状態
緑	点灯	ドライブは正常に認識されています。
緑	点滅 (速く)	ドライブにアクセス中です。
緑	2.0秒間隔で点滅	ドライブを再構築中です。
なし	消灯	トレイ内にハードディスクがセットされていません。
赤	点灯	ドライブに何らかの障害が発生したことを示しています。この場合、直ちに障害が発生したハードディスクユニットトレイを交換してください。



ご注意

ハードディスクドライブに何らかの障害が発生した場合には、ハードディスク状態ランプが赤く点灯しますが、ブザーは鳴りませんのでご注意ください。

第2章 設置と運用

2.1 設置上の注意

設置場所

本製品の設置条件は以下の通りです。

項目	動作時	非動作時
温度	+10 ~ +35	-20 ~ +50
相対湿度	20% ~ 80%	20% ~ 80%
塵埃	一般事務室条件を許容	

次のような場所には設置しないでください。

- ・直射日光のあたる場所
- ・温湿度変化の激しい場所
- ・電氣的ノイズを発生する機器の近く（モーターの近くなど）
- ・強磁界を発生する機器の近く（ラジオなど）
- ・ごみ、ほこりの多い場所
- ・振動の多い場所
- ・腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど）や塩分を多量に含む空気が発生する場所
- ・周囲が密閉された棚や箱の中などの、通気が妨げられる場所
- ・不安定な場所

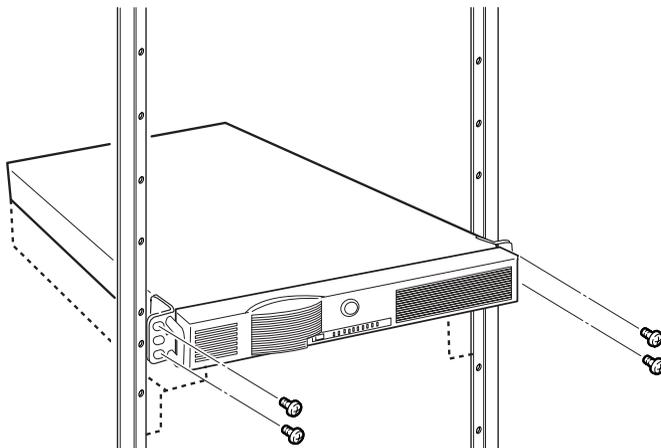
19型ラックに収納する場合の手順



ご注意

- ・本製品を設置する際は、電源の可用性やほこりや温度、湿度などの環境が適切であるかどうかご確認ください。

本製品を19型ラックに取り付ける際は、下図のようにラックに取り付けてください。(本製品をラックに取り付けるネジおよび支え金具付属していません)

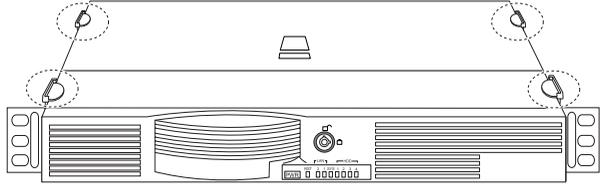


重要なご注意

- ・取り付けの際はご使用のラックの据付・設置条件をお守りください。
- ・19型ラックに機器(本製品を含む)を取り付ける際には、下から順に間を開けずに取り付けるか、ラック付属の支え金具などを使用してください。
- ・必ず2人以上で周囲の安全を確認してから取り付けを行ってください。
- ・本製品前面を塞ぐと空気の流れが止まり、本製品の温度が上昇し、故障の原因となる可能性がありますのでご注意ください。

机の上などに設置する場合の手順

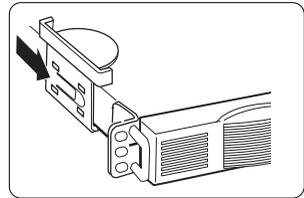
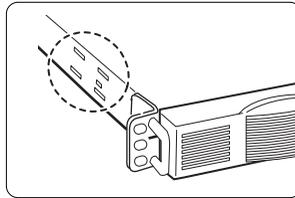
本製品には、机上設置用に専用のマシンホルダを添付しておりますので、机上への設置の場合は下図のように側面の4ヶ所に取り付けてください。このように取り付けた場合、3段まで重ね置きが可能です。



2

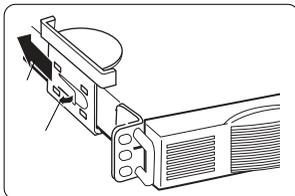
取り付け手順

各設置位置にある5つの穴のうち、外側の4ヶ所の穴に専用マシンフォルダの突起合わせて挿し込み、前方または後方にスライドさせます。マシンフォルダのツメの部分にある突起が内側の穴にはまると固定されます。側面の4ヶ所すべて、同様の手順でマシンフォルダを取り付けてください。



取り外し手順

マシンフォルダのツメを軽く持ち上げ、取り付けたときと反対の方向にスライドさせて取り外してください。

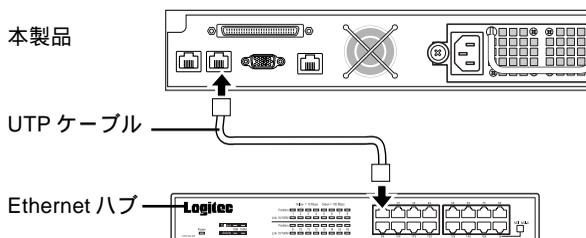


2 . 2 接続について

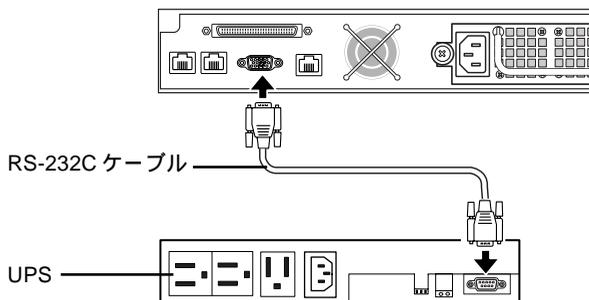
本製品の接続は以下の手順で行ってください。

UTPケーブルを使用して、本製品背面のLANポートとEthernetハブを接続します。

本製品にはLANコネクタが3つありますが、最初はLANポート1に接続してください。フェイルオーバー、トランキング、ギガビットイーサにての接続に関しては初期設定完了後、「2 . 3 ネットワークの接続設定について」を元に変更してください。ソフトウェア側の設定方法についてはユーティリティCD-ROMに収録されているソフトウェアマニュアルをご参照ください。

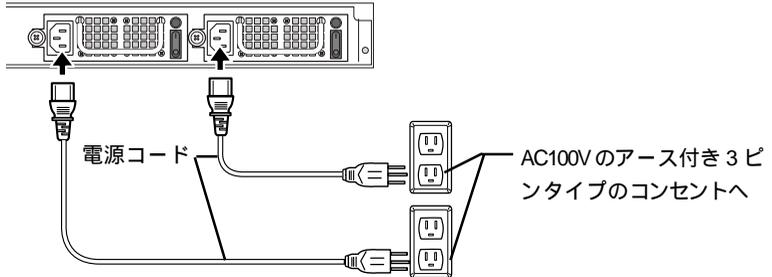


UPS（無停電電源装置）を使用する場合は、UPSメーカーから提供されている、別売のUPSケーブルで本製品のシリアルポートとUPSのシリアルポートを接続します。UPSの設定方法については、UPS付属のマニュアルおよび、本製品のソフトウェアマニュアルをご参照ください。



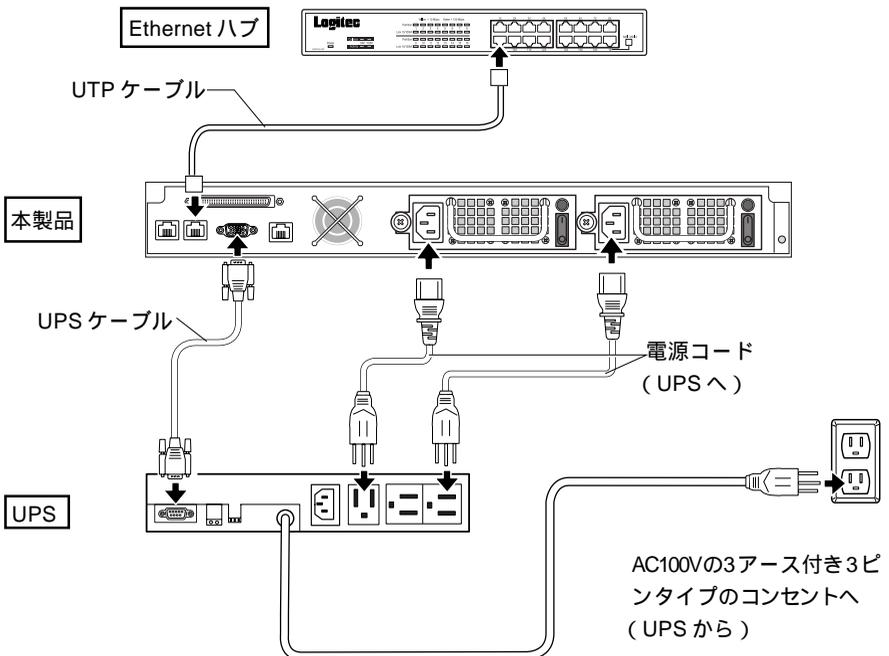
付属の電源コードを本製品背面の電源コネクタに接続します。電源コードはAC100Vのアース付き3ピンタイプのコンセントに接続してください。本製品には電源コネクタが2ヶ所ありますが、必ず2つとも電源コードと接続してください。（電源は瞬停時等の事故防止のため、UPSに接続するか、異なる系統の電源コンセントに接続することを推奨いたします。）

接続が完了したら背面のメイン電源スイッチをONにします。電源表示ランプが緑色に点灯することを確認してください。



2

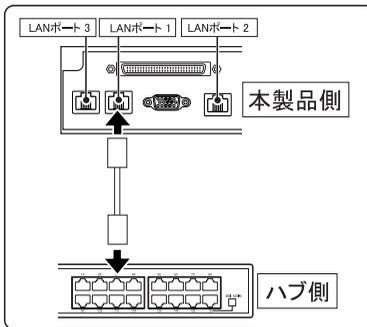
以上で接続は終了です。全体の接続図は以下のようになります。（UPSへ接続した場合の例）



2.3 ネットワークの接続設定について

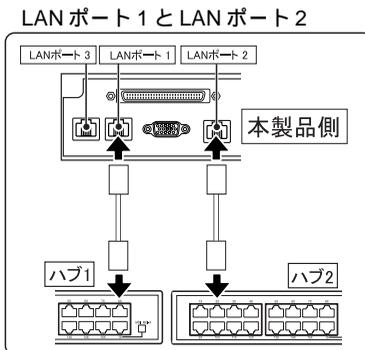
本製品をネットワークへ接続する場合、出荷時は、以下のようにLANポート1にて通常の接続を行います。LANポート1の設定を行っておかないと、ギガビット、フェイルオーバー、トランキングの設定はできません。各設定方法についてはCD-ROM収録の「ソフトウェアマニュアル」をご参照ください。

通常の設定

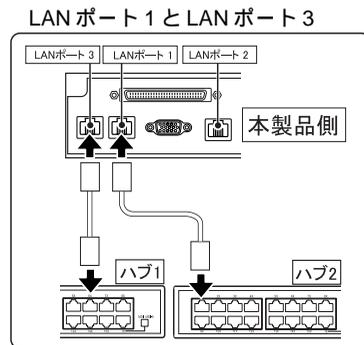


本製品のLANポート1とEthernetハブを接続します。

フェイルオーバー



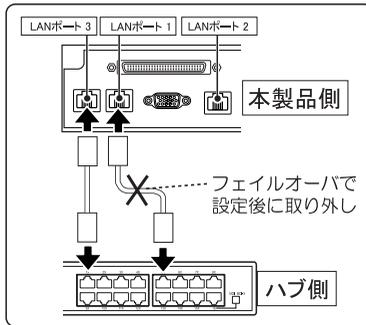
メイン：LAN1



メイン：LAN3

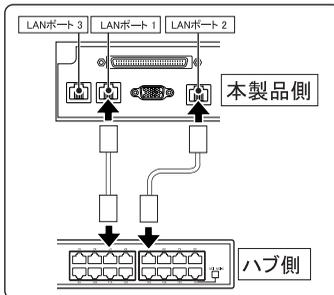
Ethernetハブに『LANポート1とLANポート2』または、『LANポート1とLANポート3』を接続します。

ギガビットイーサネットポート接続



ギガビットイーサネット接続で使用する場合は、いったんLANポート1とLANポート3を接続し、フェイルオーバー設定を行った後に、LANポート1のケーブルを取り外します。

トランキング



トランキングに対応した Ethernet ハブに LAN ポート 1 と LAN ポート 2 をそれぞれ接続します。



ご注意

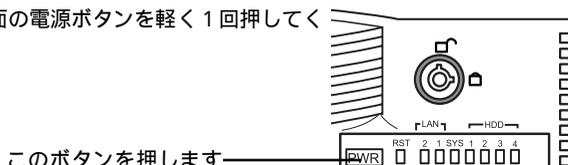
WEB管理ツールでネットワークの設定を工場出荷時に復元した場合は通常の設定の接続からやり直さなければいけないので注意してください。

2 . 4 電源の投入と切断

電源の投入

「2.2 接続について」を参照して、本製品の接続が完了したら、本製品背面のメイン電源スイッチの電源を2つともONにします。

本製品前面の電源ボタンを軽く1回押してください。



システムが起動します。起動中は、システム状態ランプが赤色で1 - 2秒間点滅した後、0.5秒間隔で緑色に点滅します。

システムの起動が完了し、NASサーバがレディ状態になると、システム状態ランプが緑色の点灯状態となり、使用可能となります。システムの起動までには数分かかります。

電源の切断

電源切断時のご注意

本製品の電源を切る場合は、必ずWEB管理ツールからシャットダウン処理を行ってください。

所定の手順以外で電源を切断すると、データの破損や機器の故障を招く恐れがありますので、ご注意ください。

また、不慮の停電などによる電源の切断を防ぐためにUPS（無停電電源装置）の使用を強くお勧めします。

本製品の電源をOFFする場合は、WEB管理ツール（ストレージマネージャ）から行ってください。

WEB管理ツールからシャットダウン処理を行うと、約2分後に自動的に電源がOFFになります。

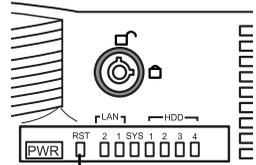
操作方法についてはCD-ROM収録のソフトウェアマニュアルをご参照ください。

緊急時の電源切断について

本体前面の電源ボタンを4秒以上押すことにより電源を切ることができますが、本製品がハングアップした場合以外は、行わないでください。

リセット

本製品がハングアップし、全ての操作を受け付けなくなった場合は、前面のリセットボタンを4秒以上押します。このボタンは通常の動作中には決して押さないでください。システムに障害が発生したり、ドライブに異常が発生する場合があります。最悪の場合、データを破損する場合があります。



このボタンを押します。



重要なお注意

シャットダウンは必ず、管理ツールまたは本製品前面の電源ボタンから行ってください。

前面の電源ボタンを4秒以上押し続けた場合や、シャットダウンを行わずに強制的に電源を切った場合は、データが破損する恐れがありますのでご注意ください。

2.5 管理・設定について

本製品の管理・設定はインターネットエクスプローラなどのブラウザを利用してリモート管理ツールで行います。はじめに初期設定のためリモート管理ツールにアクセスしてください。

管理ツールの使い方はユーティリティ CD-ROM に保存されている「ソフトウェアマニュアル (PDF)」をご参照ください。

第3章

ハードディスク・電源ユニットの交換手順

3.1 ハードディスク ユニットの交換

本製品に内蔵されているハードディスクに障害が発生した場合、ハードディスク状態ランプが赤色に点灯します。この場合、直ちに障害が発生したハードディスクユニットを交換します。本製品は、ホットスワップに対応しておりますので、障害が発生したハードディスクユニットを交換する際、システムを停止させる必要はありません。交換は以下の手順で行ってください。



ご注意

- ・ 複数のハードディスクが同時に壊れた場合や、RAIDレベルを変更し、RAID0やJBOD等で運用していた場合などの際は、データは一切保護されません。必ず、定期的にデータのバックアップを行ってください。
- ・ 正常に動作しているハードディスクドライブを取り外すと、データは失われます。最初に必ず、どのハードディスクに障害が発生しているかを確認してください。

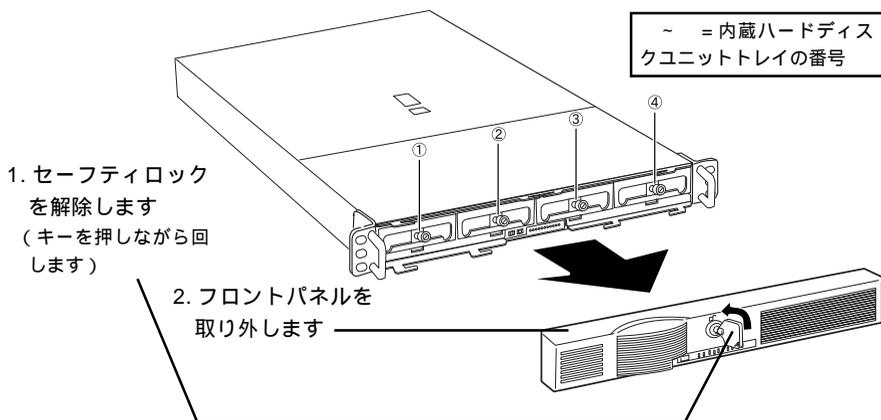
前面のハードディスク状態ランプを確認し、どのドライブに異常が発生しているのかを確認してください。

赤色に点灯しているハードディスクドライブに障害が発生しています。



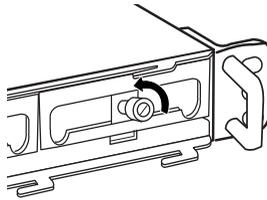
この部分で確認

次に付属のセーフティキーを使用してフロントパネルのセーフティロックを解除し、パネルを手前に引いて取り外します。

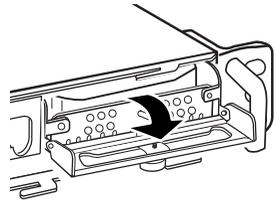


障害が発生したハードディスクユニットトレイの固定ネジを緩めてトレイハンドルを水平の位置まで倒します。

これ以降の図は全てハードディスクユニットトレイ4を交換する前提で進めます。実際の交換の際は、障害が発生したトレイを交換してください。



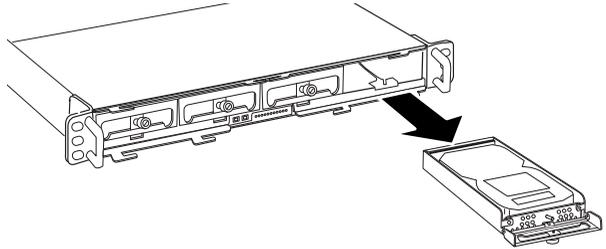
1. ネジを緩めます



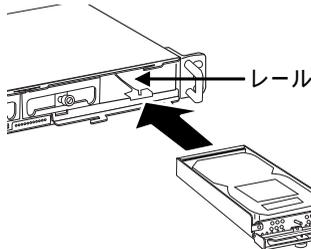
2. トレイハンドルを水平に倒します

トレイハンドルをもってハードディスクユニットトレイを手前に引き抜きます。

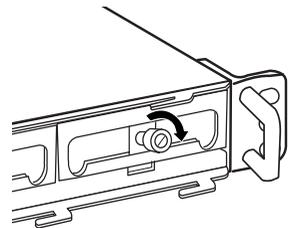
3



交換用のトレイ付きスベアドライブを取り外した場所にセットし、固定ネジをしっかりと締めます。トレイの裏側の溝が本体のレールにはまるように挿入し、トレイ下部のツメをしっかりとセットしてください。



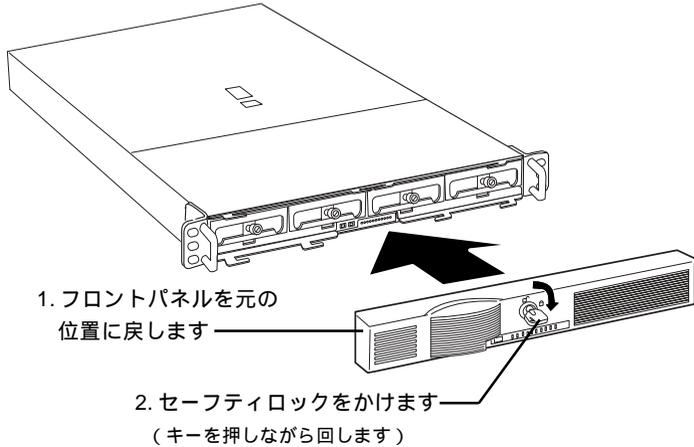
1. 交換用トレイ付きスベアドライブをセットします



2. ネジをしめます。

3.1 ハードディスクユニットの交換

フロントパネルを元の位置に戻し、セーフティキーでロックしてください。



以上で交換は終了です。交換後、自動的にシステムが再構築されます。その間、ハードディスク状態ランプは、緑色に約2秒間隔で点滅します。(RAID5+ スペアの場合は、異常が起きた時点でスペアとなっていたドライブを使用して再構築が行われるので、交換したドライブは自動的にスペアとなります)

ランプの色	点灯/点滅	状態
緑	点灯	ドライブは正常に認識されています。
緑	点滅 (速く)	ドライブにアクセス中です。
緑	2.0秒間隔で点滅	ドライブを再構築中です。
なし	消灯	トレイ内にハードディスクがセットされていません。
赤	点灯	ドライブに何らかの障害が発生したことを示しています。この場合、直ちに障害が発生したハードディスクユニットトレイを交換してください。

リビルド時間について

本製品のリビルド時間は約**9.5時間**となります。(いずれも外部からのアクセスがない場合)

この値は、外部からのアクセスがない場合のおおよその目安となっており、ご使用の環境により異なります。この時間内にリビルドが終了することを保証するものではありません。

3.2 電源ユニットの交換

本製品は電源ユニットに異常が発生すると、警告音が鳴り、システム状態ランプが0.5秒間隔で赤色に点滅します。この場合、以下の手順で異常の発生した電源ユニットを交換してください。

Point

ポイント

本製品はホットスワップに対応しておりますので、異常の発生した電源ユニットの交換はシステムが稼動した状態で行えます。ただし、片方の電源ユニットが故障した場合は、速やかに交換してください。別売の電源ユニットは「4.3 オプション品について」をご参照ください。

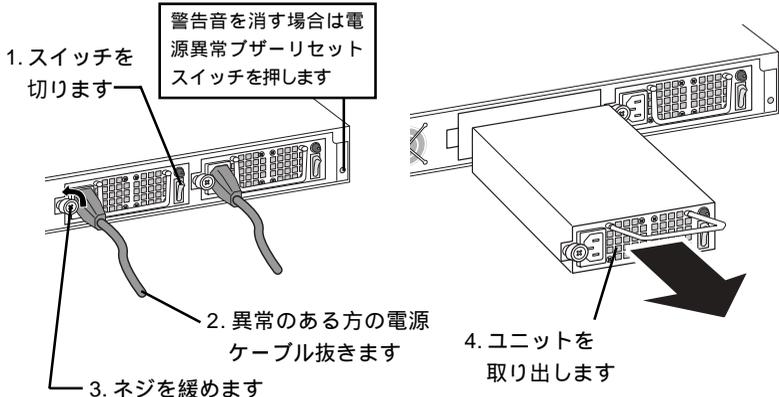
電源ユニット異常が発生した場合は、メイン電源スイッチがONの状態でも、電源ランプが消灯しますので、異常が発生した電源ユニットを特定し、そのユニットのメイン電源スイッチをOFFにします。

警告音を止める場合は、背面の「電源異常ブザーリセットスイッチ」を押します。

異常が発生した電源ユニットに取り付けられている電源ケーブルを抜いてください。

異常のある方の取り付けネジを緩めてください。

ハンドルを手前に引き、電源ユニットを取り外してください。



電源ユニット1を交換する場合

新しい電源ユニットを、上記と逆の手順でセットしメイン電源スイッチを入れてください。その際、電源表示ランプが緑色に点灯していることを確認してください。以上で電源ユニットの交換は終了です。

第4章 補足事項

4.1 保守契約サービスのご案内

弊社では通常の修理やテクニカルサポートの他に下記内容で保守契約サービスを行っています。本製品には標準で1年のオンサイト保守が付いています。

基本保守サービス

本製品は標準で1年間のオンサイト保守（弊社規定に基く平日の昼間のみ）が受けられます。本製品と同梱の保守契約書を弊社サービスセンター宛にご返送ください。

また、別売りオプションで最長5年までのオンサイト保守をご契約いただくことも可能です。

いずれの場合も保守契約書をお送りいただかなければ保守サービスを受けることができませんのでご注意ください。

お問い合わせ／お申し込み

お問い合わせお申し込みは、弊社サービスセンターへご連絡ください。

ロジテック株式会社 伊那サービスセンター
〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268
TEL : 0265-74-1423
FAX : 0265-74-1403

上記電話番号では技術的なお問い合わせへの対応は行っておりません。
テクニカルサポートについては裏表紙をご参照ください。

オプションオンサイト保守パック

本製品標準の1年間のオンサイト保守に加え、購入後、最長5年までのオンサイト保守をご契約いただけます。

保守パック	期間	内容
SB- LASRA- HP02	2年間	LAS- RAN シリーズ用2年間保守パック
SB- LASRA- HP03	3年間	LAS- RAN シリーズ用3年間保守パック
SB- LASRA- HP04	4年間	LAS- RAN シリーズ用4年間保守パック
SB- LASRA- HP05	5年間	LAS- RAN シリーズ用5年間保守パック

注：期間は全て1年間のオンサイト保守期間を含む

4.2 動作確認済みUPS

メーカー	製品名	製品型番
APC	Smart - UPS	SU700J
APC	Smart - UPS	SU1400J

上記UPSを使用するためには、下記型番のInterface Kitが必要です。
(機種によってはあらかじめ添付されている場合もあります。詳しくは
お買い求めいただいた販売店にお問い合わせください)

メーカー	製品名	製品型番
APC	Interface Kit	AP9824LJ (UPSケーブル)

4.3 動作確認済みテープドライブ

メーカー	製品名	製品型番
HP	テープドライブ	HP Sure store dat 40
SONY	テープドライブ	SDX-7000

4.4 オプション品について

オプション品のお求めは、お買い求めいただいた販売店またはロジテック
の安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」にてお求めください。

ロジテックダイレクトホームページ

<http://www2.ld.logitec.co.jp/>

スペアドライブ (トレイ付き)

本製品内蔵のハードディスクユニットを交換の際は以下のトレイ付き
スペアドライブをご使用ください。

スペアドライブ	容量	内容
SPD-1URA250H	約 250 GB	LAS-1URA750N/ H 専用スペアドライブ

スペア電源ユニット

本製品の電源ユニットを交換する際は、以下のスペア電源ユニットを
ご使用ください。

スペア電源ユニット	内容
LAS-1URAPWN	LAS-1URA750N/ H 専用 スペア電源ユニット

4.5 日常のお手入れについて

主なお手入れ項目

本製品は、定期的なお手入れの必要があります。

下表に従って日常のお手入れを行ってください。お手入れの際に異常がありましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。お問い合わせについては本書巻末をご参照ください。

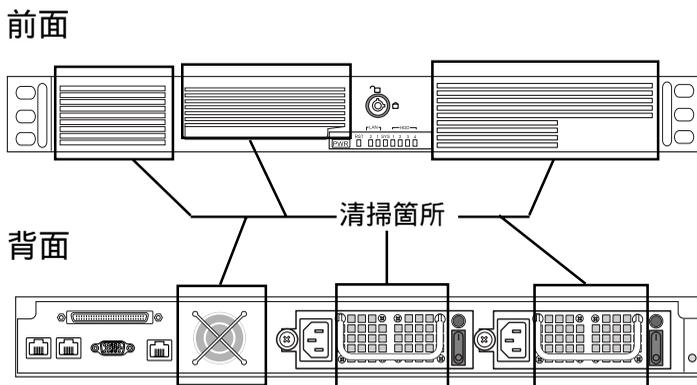
清掃・確認項目		清掃・確認周期の目安
清掃	通風孔の塵埃除去	6ヶ月
確認	ファンの異常音点検	6ヶ月

塵埃が多い環境で使用される場合、清掃周期を1ヶ月にしてください。

装置のクリーニングについて

6ヶ月に1度の割合で定期的に通風孔のクリーニングを行ってください。(塵埃が多い環境で使用される場合は1ヶ月に1度の割合で行ってください。)

次に示す通風孔を乾いた布でふくか、掃除機で吸引してください。



ハードウェア仕様一覧表

型番		LAS-1URA750N/ H	
搭載 ディスク	データ領域容量 *1	約 721.3 GB	
	ドライブ数	4	
	対応RAIDレベル *2	RAID 0、RAID 1、RAID 5、RAID 5 + スペア	
筐体タイプ		1U 型	
冷却ファン		有り	
システム障害回避機能		Compact Flash ディスクにより保護	
データ障害回避機能		RAID 5 構成	
障害通知機能		LED, 警告音, E-Mail	
管理機能		Web ベースのリモート 管理	
登録可能ユーザ数		2048	
登録可能グループ数		128	
同時アクセス可能数		2048	
対応 ネットワーク	プロトコル	TCP/ IP, AppleTalk	
	ファイルシステム	CIFS (SMB), AFP, NFS	
	インターフェース	1000BASE-T/100BASE-TX / 10BASE-T	
	ポート数	3 (RJ - 45) *3	
外部ポート	シリアル	1 (D- sub 9 ピン) *4	
	SCSI	1 (D- sub ハーフピッチ 68 ピン : 160 MB/s) *5	
搭載OS		FreeBSD ベース	
CPU		Intel Celeron 1.2 GHz	
メモリ		512 MB	
環境条件 *6	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20% ~ 80%
	保管時	温度	- 20 ~ 50
		相対湿度	20% ~ 80%
発熱量		522 KJ/ h	
入力電圧		AC 100V ± 10 %	
消費電力 (TYP)		145 W	
エネルギー消費効率		区分L, 0.052 W/MTOPS	
保証期間		パーツ保証 3年 (オンサイト保守 1年含む)	
外形寸法	幅 × 高さ × 奥行き	428.4 × 44.5 × 523 mm	
質量		12.5 kg	
設置方向		水平	

*1 1GB=1,000,000,000 バイトとして計算

*2 出荷時設定は RAID 5

*3 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T × 1、100BASE-TX/10BASE-T × 2

*4 UPS 接続用

*5 テープドライブユニット接続用

*6 ただし結露なきこと

MEMO